

企業の立場から 障がいを持つ人の雇用とは？

～第6回 発達障害者就労支援研究会～

有限会社奥進システム 奥脇 学

レジエメ

- 弊社のご紹介と状況
- 発達障がいの方に関わった経緯
- 企業としての活動
- 障がいを持つ人と関わる事を考える

業務内容

- 受託ソフトウェア開発業
- お客さんからの要望を聞き、1からプログラムを製造する。
- 特にWeb技術に特化（Webブラウザで利用できるもの）
- 顧客管理システム
- 受発注管理システム
- ショッピングサイト

弊社の障がい者雇用への背景

- システム開発＝分散開発可能
- 在宅勤務ベース
- S O H O、母子家庭、障がい者

弊社の障がい者雇用状況

- 2002年1人目
- ハローワークより
- 足に障がい、障害者手帳有り (見せてもらったことがない)
- 自己都合退職後、再入社
- 再度自己都合退職

弊社の障がい者雇用状況

- 2006年2人目
- 大阪市職業リハビリテーションセンター
- 頸髄損傷、車椅子
- 2007年3人目
- 大阪市職業リハビリテーションセンター
- 頸髄損傷、車椅子
- 2008年4人目
- 知人
- 視覚障害

弊社の雇用状況

- スタッフ 5 名
- 障がいを持つ方：3 名（身体障がい）
- 母子家庭の母親：1 名

トラックボール



介護リフト



作業風景



ミーティングテーブル



発達障がいに関わった経緯

- 施設まわり、主に身体障がいを持つ方
- 障がいを持つ方の就労を考える
- 周りが関わる人、知り合いが多くなる。
- 子供が自閉症
- 就業体験協力

就業体験協力

- プラクティカル・ジョブサポート
- 大阪市就業支援等モデル委託事業（大阪 LD 親の会）
- 発達障がいの子（高機能自閉症）の実習体験：週1日
- 合計6日間
- パソコンに興味有り
- ホームページの制作をしてもらう

LD親の会

- 打ち上げで、大阪LD親の会「おたふく会」入会
- 大阪LD親の会「おたふく会」HP作成
- 副代表（活動は・・・）
- パソコンセッティング役
- 次々と・・・（次ページ）
- 全国LD親の会総会、日本LD学会
- 全国LD親の会HP作成

サポートツールデータベース

- 発達障がい児のためのサポートツールデータベース（教材・教具DB）事業参画
- 文部科学省、2年間の委嘱事業
- 錚々たるメンバー
- システム作成
- 2008年で終了
- 新たに日本財団助成金で1年間活動

ちよつとCM

- 発達障がい児のためのサポートツールネットショップ「つうるぼくす」
- 2009年9月10日オープン
- 運営は弊社で
- 目的は、助成金無く「事業継続」
- 発達障がいの方の実習、就労にも・・・

企業としての活動

- 目的は？ = 経営理念 =
- 基本理念
- 私たちと、私たちに関わる人たちが、とてもしあわせと思える社会づくりをめざします。
- 経営理念：「進取・自立・奉仕」
- 行動指針
- インターネット技術を活用し、社会に対し貢献できる企業を目指します。
- お客様の立場で、奥深く進んだサービスが出来る企業を目指します。
- 社員、一人一人が自立する企業を目指します。
- オープンソースプロジェクトを尊重する企業を目指します。

一般企業は？

- 目的は、経営理念（会社の社会的存在意義）
- 利益追求？ 利益追求は目的でなく原資
- しかし、社員さんの生活保障は必要
- 「人」「物」「金」「情報」
- 「有限な経営資源」効率よく有効活用
- 本業の妨げにならない（企業は皆のもの）

1. 職業体験(ボランティアベース)

仕事というのがどのようなものを体験して頂くのを目的としていて、全国 LD 親の会からお預かりしている会報を電子化(PDF化)する作業

この場合、完全ボランティアベースで、ただ体験して頂く場を提供するという形になります。(賃金は発生しません)

現在では JSN (NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク) の実習の方や、発達障がいを持っておられる方の支援として 出来る限り(本業の妨げにならない限り) 支援をしています。

2. アルバイト

時給750円をベースに出来る仕事を探します。もちろん能力が高ければ時給は考えます。

現在では前職システムエンジニアのうつ病からの復職希望の方をアルバイトとして支援しています。順調に行けば正社員として雇い入れたいと思っています。

中井さんと、経理で手伝ってもらっている方もアルバイトになっています。(これは支援目的ではないですが。)

この場合、条件としては「賃金を発生させても OK」という仕事出来るかどうかポイントになってきますので 能力が無いのであれば出来ません。

弊社も小さい会社でこのような支援が常時出来るような余裕が無いのが現状です。現に弊社の社員さんは、弊社の理念を理解していただいた上で、給料が他の同業に比べると低いことも納得して頂いて経営している為に余裕のあるバイトを雇うことは社員さんたちに対しても悪いと考えているので、そこはちゃんとした目で判断させていただきます。

現在創出できそうなバイト内容は、書類整理と片付けの手伝いぐらいなので、そんなに時間数にしても無いのが現状です。

データ入力などがあればいいのですが、現在は残念ながらそのような需要がありません。

弊社の例（実習、バイト受け入れ）

- プラクティカルジョブサポート
- インド人（システム開発ノウハウ）
- J S N様
- 発達障がいを持つ人、バイト
- うつ病、バイト（状態をみて正社員候補）
- たまがわ高等支援学校様

障がいを持つ人と関わる事を考える

- 自社にとって意味があるか？
- 企業風土改善
- 企業の社会的責任（CSR）、中小は？
- 経営理念

障害者雇用の現状

- 就労移行推進（法律が・・・）
- 福祉施設の意識の低さ（作業所の工賃UP）
- 就労移行への課題（福祉、企業、試行錯誤）
- 福祉、企業のお互いの連携が必要
- 障がい者雇用という職業（特例子会社）
- 雇用率ありき（状態良ければ、売り手市場）

マッチングの機会

- うちのスタッフ（2人目）
- 約 20 社面接 & 試験
- 状態が悪い、手間がかかる、設備がない。
- 状態の良い人は売り手市場
- 最初は大丈夫？お互いの慣れと状態の確認
- 雇用の機会すら生まれない。
（マッチングとサポート環境）
- 福祉側が積極的に活動する必要性？
- 企業側は情報収集、広報運動？

障害者雇用の3つの壁

- 雇用前：相談窓口、支援制度
- 雇用直後：どう対応すればよいかわからない
- 長期雇用：衰え、生活支援

障がいとは？

- 障がいとは理解と支援を必要とする「個性」
- みんな一緒
- あまり意識しない
- 活動している人は、区別することに抵抗
- 縁が大事
- 発達障がい、あれ？うちの子そうやん。